

平成 29 年度 事業計画書

新潟コンベンションセンター指定管理者
新潟万代島総合企画株式会社

平成29年度の事業計画について

〈平成29年度における基本的な考え方〉

平成29年度は現指定管理の3年目であり、5年間の指定管理期間の折り返しの年を迎える。今期以降の大規模な学会・大会などに対する営業活動は次期指定管理期間の稼働率に反映される時期に突入するため、次期指定管理との継続を意識しつつ、積極的に営業活動を行う。

また、今年度の夏休みイベントは2本を予定し、県民に「元気と楽しさ」「感動と体験」を与えるイベントを自主企画事業として実施する。

〈基本方針〉

当社は、公募時に提案したコンセプトである「朱鷺メッセの価値を高め、新潟の発展に尽くす」を実現すべく、次に掲げる基本方針の下、全力を挙げて本年度における施設の管理運営に取り組む。

1 「新潟経済活性化の手段」としての朱鷺メッセ

新潟経済活性化と新潟の知名度向上のため、朱鷺メッセに相応しいMICEの誘致や自主企画事業を積極的に展開する。

2 「新潟のシンボルゾーン」としての朱鷺メッセ

新潟日報メディアシップ、万代シティ等と連携して、信濃川に面した豊かなウォーターフロント空間を活かした憩いと安らぎの場を提供し、多くの人々が交流する新潟のシンボルゾーンを形成する。

3 「安全安心で快適な利用空間」としての朱鷺メッセ

10年余の管理運営で得たノウハウを十分に活かして、施設の維持保全と安全対策に万全を期す。

また、主催者、来場者に高い満足感と地球環境に優しいサービスを提供する。

I 新潟コンベンションセンターの管理運営について

1 施設の利活用

(1) 目標稼働率

平成29年度の展示ホール、メインホール及び国際会議室の目標稼働率は、公募時に提案した次の数値とする。

区分	目標日数	稼働率
年間稼働可能日数	353	——
展示ホール	218	61%
メインホール	271	76%
国際会議室	216	61%
合計	705	66%

※年間稼働可能日数：(365日-休館日6日-臨時休館日6日)×3施設

(2) MICE誘致への取り組み

新潟経済活性化と新潟の知名度向上のため、次の3つを重要ターゲットとして取り組む。

① 経済波及効果の高いコンベンション

県外からの来場者の多い全国学会、全国大会の誘致を積極的に行う。

② 新潟の知名度・ステータス向上につながるコンベンション

政府間会合や国際会議の開催を県・市と協力して目指す。

③ 県民の多くが利用・参加できるコンベンション

新潟県を代表する施設として、県民に「元気と楽しさ」「感動と体験」を提供する交流参加型イベント、コンサート、そして産業の活性化を促す商品展示会等を誘致することで賑わいを創出する。

(3) 新潟のシンボルゾーンとしての賑わいの創出

① 自主企画事業

従来のイベント内容の見直し等を行い、県民が楽しめるコンテンツのイベントを開催することにより、朱鷺メッセへの集客力向上に努める。

時期	イベント名	内容
夏	夏休みイベント	イベント本数1本増
冬	フェスタ万代島	出展ブースコンテンツの見直し、広報

② 信濃川右岸連携事業及び賑わい創出

今年度も前年度に引き続き、信濃川右岸に位置する「新潟日報メディアシップ」、
「万代シテイ」、「NST」と連動したイベントを開催し、万代地区と一体で賑わいを
創出する。

【信濃川右岸連携による催事（予定）】

時期	イベント名	内容
春	花フェスタ	チューリップの花絵展示
夏	七夕飾り	来場者参加の短冊と七夕飾り
秋	ハロウィン装飾	施設にフォトスポットを設置
冬	クリスマス装飾	ペットボトルツリー等によるイルミネーション

【その他の賑わい創出（予定）】

時期	イベント名	内容
春～秋	フラワーベッド	検証2年目、年度末に整備方針決定
冬	クリスマスコンサート	万ビルとの共催事業
正月	書初め	東京学館新潟高校書道部によるパフォーマンス

③ アクセスの改善

アンケート調査等で要望の多い交通アクセスの改善を図るため、県及び新潟交通株
式会社と協議の上、バス輸送の強化について検討する。

ダイヤは朝夕など現在運行していない時間帯をカバーし、イベント来場者のほかホ
テル利用者、オフィスビル関係者などの利便性向上を目指す。

2 利用者に対するサービス

(1) ワンストップサービスの提供

利用者の多様なニーズに対して当社が一括して窓口となり、各種サービスをワンスト
ップで提供することにより、利用者の利便性向上に努める。

(2) 多様な料金制度の設定

今年度も引き続き、多様な「特定料金」を設定して利用者のニーズに応える。

(3) 利用者ニーズの把握

各種アンケートなどの実施により、利用者の生の声を広く収集して業務品質の向上に
努める。

(4) 開催告知の協力

朱鷺メッセのホームページや広報誌、当社が出稿する新聞・電波広告等の各種媒体を
利用して開催告知に協力することにより、集客面における主催者の支援を行う。

3 安全・安心で効率的な施設の維持管理

(1) 維持保全計画による施設の維持管理

利用者に対し、安全で快適な環境を提供するため、「新潟コンベンションセンター等維持保全計画（平成 25 年 9 月改定）」を適宜見直し、計画に基づく安全安心で効率的な施設の維持管理を行う。

(2) お客様の安全を第一とする施設の管理運営の実現

お客様の安全を第一に考え、火災、災害、事故などに対するマニュアル整備や訓練を行うとともに、これらの予防に対する主催者への支援を行う。

(3) 外部識者による技術評価

施設建築物等の維持保全業務が維持保全計画に沿って行われているかどうかを毎年度、外部委員からなる技術評価委員会から評価を受け、その結果を県に報告する。

また、技術評価委員会からは、環境や省エネ面など新たなテーマについて適宜助言を得て、今後の業務に反映させる。

【技術評価委員会の構成】（平成 29 年 3 月 31 日現在）

委員長：新潟大学教授	西村 伸也 氏
委員：新潟工科大学名誉教授	地濃 茂雄 氏
委員：新潟県設備設計事務所協会監事	木村日出男 氏

4 地球環境への取り組み

(1) 地球環境にやさしい施設づくり

当社は ISO14001 に基づき、「地球環境にやさしい施設づくり」を基本理念として地球環境の保全を事業活動の重要な柱の 1 つとして捉え、全社をあげて取り組む。

(2) 環境情報の発信

ホームページでの発信のほか、自主企画事業や館内装飾において環境教育・啓発活動に努める。

(3) 環境意識の向上

環境意識の向上を図るため、夏期に当社で作成する「うちわ」の配布をするほか部材のリサイクルやごみの分別などについても利用者に積極的に働きかける。

Ⅱ 万代島駐車場の管理運営について

1 MICE 開催をサポートする運営

(1) 大型催事開催時における駐車場の円滑な運営

大規模催事開催時には、多種多様な利用者の集中的な入出庫に対応してきたノウハウを活かして「安全」を最優先とした運営を行う。

(2) 入江側駐車場の再編

来場者の利便性向上を図るため、入江側の駐車場C・D及び多目的広場を再編して施設に近接した駐車スペースの拡張について検討する。検討にあたっては港湾計画との整合など県、市と十分協議しながら進める。

2 多様なニーズに応じた運営

(1) MICE 利用者ニーズの把握

MICE 誘致を推進するため、利用者懇談会や各種アンケートで主催者や来場者のニーズを把握して利便性の向上に努める。

(2) 万代地区利用者への対応

ホテル、オフィス、美術館、佐渡汽船など利用者はもとより、万代地区利用者にも利用して頂けるよう柔軟に対応する。

3 安全安心を最優先とする駐車場管理

(1) 24 時間体制の常駐警備

巡回やモニター監視による24時間体制の警備を徹底し、事故等の未然防止に取り組む。

(2) 防災・防火訓練の実施

立体駐車場における防災・防火訓練やエレベーターの救出訓練を通じ、駐車場利用者の安全確保に努める。

(3) 大規模催事開催時における安全誘導

大規模催事開催時には、警備員を増員配置し、駐車場内外の安全と円滑な交通確保に努める。

(4) 立地特性を踏まえた管理

立体駐車場は塩害対策、緑地の多い平面駐車場は緑豊かなグレードの高い植栽管理など、ポイントを押さえた効果的な維持管理を実施する。

4 駐車場利用者増に向けた取り組み

(1) 催事来場者による利用増

大規模催事の開催増を図り、これに伴う駐車場利用者の増加を目指す。

(2) 佐渡汽船利用者へのPR

佐渡航路利用者に対する低額料金を佐渡汽船株式会社のホームページなどにも掲載していただき、万代島駐車場のPRに努める。

(3) 定期券利用者の確保

時間貸利用とのバランスを図りながら万代島地区及びその周辺地区住民や事業所に対する定期券利用を推進する。

(4) 万代地区利用者

万代地区の事業者との共同イベント開催など万代島地区との回遊性を高めることにより、駐車場の利用促進を図る。

5 来場者利便設備等の設置について

(1) 誘導サイン

駐車場内外における誘導サインの見直しを適宜行い、利便性の向上に努める。

(2) 飲料自動販売機

利用者の利便性向上を図るとともに街灯として防犯機能を発揮する飲料自動販売機をA・B2・C・D・Eの各駐車場に設置する。

Ⅲ 新潟港万代島緑地の管理運営について

1 万代地区との回遊性創出

(1) 一体感のある動線整備

万代地区から朱鷺メッセまでの歩道上にフラワーハンギングバスケットを設置するなどして一体感のある動線を演出する。

(2) 共同イベントの実施

万代シテイやメディアシップなどと共同でイベントを実施して、万代地区との回遊性を創出することに努める。

2 シンボルゾーンの形成

(1) 緑地単体としての魅力向上

前年度に引き続き、花木の種類や栽培方法を検討するためのテストベッドをリバーフロントパークに設置して、次年度以降のフラワーベット整備方針を年度末までに決定する。

(2) 憩いと安らぎの提供

緑地が県民の憩いと安らぎの場となるよう植栽、芝生の管理を仕様書に基づいて適切に実施する。

3 安全安心な管理

(1) 巡回警備による犯罪の未然防止

利用者が安心してご利用できるよう、警備員による巡回を実施するなど犯罪や事故のない緑地管理を推進する。

(2) 環境に配慮した植栽管理

土壌の環境保全や樹木の健全な育成に配慮した管理を実施する。

平成29年度 収支計画

(収入) 単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	465,657	307,211	0	772,868
2 自主企画事業収入	19,560	0	0	19,560
3 指定管理料収入	51,618	2,440	942	55,000
4 その他収入	48,678	1,043	0	49,721
収入計 A	585,513	310,694	942	897,149

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	134,797	18,067	6,199	159,063
2 事業費	119,946	14,992	23	134,961
3 維持管理費	396,149	102,128	17,865	516,142
4 運営事務費	49,299	6,116	1,167	56,582
支出計 B	700,191	141,303	25,254	866,748

収支 C(A-B)	▲ 114,678	169,391	▲ 24,312	30,401
-----------	-----------	---------	----------	--------

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込の額となります。

平成29年度 収支計画(内訳)

(収入)

単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	465,657	307,211	0	772,868
2 自主企画事業収入	19,560	0	0	19,560
3 その他収入	48,678	1,043	0	49,721
収入計 A	533,895	308,254	0	842,149

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	134,797	18,067	6,199	159,063
2 事業費	119,946	14,992	23	134,961
自主企画事業	71,586	0	0	71,586
誘致広報業務	18,396	105	23	18,524
新潟県納付金	0	14,694	0	14,694
その他事業費	29,964	193	0	30,157
3 維持管理費	396,149	102,128	17,865	516,142
維持管理業務経費	379,846	99,688	16,923	496,457
計画的(中規模)修繕等経費	16,303	2,440	942	19,685
4 運営事務費	49,299	6,116	1,167	56,582
事業所税	13,473	0	0	13,473
その他運営事務費	35,826	6,116	1,167	43,109
支出計 B	700,191	141,303	25,254	866,748
指定管理料を除いた収支 C(A-B)	▲ 166,296	166,951	▲ 25,254	▲ 24,599
指定管理料 D	51,618	2,440	942	55,000
指定管理料を含めた収支 E(C+D)	▲ 114,678	169,391	▲ 24,312	30,401

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込の額となります。